

# ＝ 普 及 情 報 ＝

No. 37

平成30年3月28日

東部農林振興センター出雲事務所農業普及部

標 題	出雲農業普及部における農商工連携による6次産業化支援活動の取り組み ～加工用サツマイモを生産する(株)F社と加工販売する(有)K社への支援活動～
-----	---

(ダイジェスト)

斐川町でサツマイモの加工品(干し芋、ペースト、かりんとう等)を製造し、生協等で全国販売をしている(有)K社と、その関連会社で平成29年に法人を設立され、加工用サツマイモを生産する(株)F社の取り組みについて、6次産業化の新たなモデルとして支援していくために関係機関等による連携会議や先進地視察等を実施したのでその概要と今後の展開方向を報告します。

なお、(株)F社は、30年に栽培面積を拡大するとともに補助事業でイモの掘取機械等を整備し、地域と連携しながら本格生産を目指すことにしています。

昨年10月、商工会等から出雲農業普及部へ加工用サツマイモの生産とブランド化について、農商工連携による6次化支援の依頼がありました。そこで、当普及部が主体となって、この半年間、以下のとおり農商工連携による6次産業化支援活動を行いましたので、その取り組みの経過及び次年度の予定等を報告します。

なお、加工用サツマイモの栽培は、JAしまね斐川地区本部管内で現在4ha程度ありますが、掘り取りに手間がかかるため規模拡大が容易でないなどの課題があります。

## 【29年度取り組みの経過】

- 1 農商工連携会議の開催 延べ3回
  - ・参加者：(有)K社、(株)F社、出雲市斐川支所、JAしまね斐川地区本部、斐川商工会議所、しまねブランド推進課、出雲農業普及部等
  - ・内 容：加工用サツマイモの産地化に向けた仕組みづくりの検討  
(有)K社における「干し芋」の製造見学  
機械化利用一貫体系の確立による規模拡大の検討  
補助事業導入の検討(1)
- 2 加工用サツマイモ先進地視察の開催 1回
  - ・内 容：飯南町における生産・販売の先進事例調査  
飯南町における機械化利用一貫体系の事例調査
- 3 農業機械導入の検討会 延べ2回
  - ・内 容：機械メーカーから導入機械の性能、価格、操作方法等留意点の説明  
機械化利用一貫体系の検討  
補助事業導入の検討(2)

## 【30年度取り組みの予定】

- 1 機械化利用一貫体系の導入支援・・・(株)F社の規模拡大、安定栽培技術指導等
- 2 栽培面積の拡大支援・・・JA等の呼びかけにより斐川町での生産拡大
- 3 農商工連携による6次産業化の推進・・・普及部が主体となった継続した連携活動の実施